第73号　（円五価定部一）　（昭和25年7月16日第三種郵便物認可）

立教大學新聞

立教大学新聞社
豊島区池袋三丁目
立教大学新聞学会
振替口座
東京七〇八五三
電話大塚（86）520～9
内線 37
編集兼印刷人
吉川 誠一

（月刊）　日十二月一（昭和二十五年）1950年

私学振興、金庫設立へ

私学総連合で運動展開

新しい学制の改革と戦災復興のために私学は莫大な建設資金を必要としているが私大に対する融資は狭き門と化している現在、私立学校に対する融資を行う特殊機関としての私学振興金庫の設立が要望されている折柄去る十一月十三日同志社大学で行われた私立大学協会ではその設立について協議し決議文を作成し政府ならびに総司令部に送付した

解説

わが国の教育界の過半をしめている私立学校は戦災と経済事情のために非常な打撃を受けている、戦災復興や新学制の制定にともない一定期間中に学校基準の要求する条件を備えなければ現在の認可が取消されるために各私立学校は校舎の増築、充実、修理を急速に実施しなければならない、特に新制大学の完全な実施には一般教室課程における自然科学実験設備、自習室、図書館の拡張、充実等のために一時的に多額の費用を必要とする、学生中に退学者、授業料未納者が続出しており授業料の増額は物価の上昇率に比例し得ない実状におかれているので、この資金を私学が自力で調達するには長い期間を必要とするので私学の充実発展は阻害され、経営は非常に困難化しているこのことは社会不安と思想悪化の原因ともなり教育の民主化を阻止するおそれがある、他方において利潤を目的とする一般金融機関は公益事業たる私学に門戸を閉しているため私学に対する長期、短期の融資を目的とする特殊金融機関を創設することはわが国教育令の適用を担う私学の存続と健全な発達のため必要な措置として全私学から要望された、昭和二十二年春の第一国会以来、全国の私学が結束して日本私学団体総連合の名の下に「教育金庫」設立の運動を展開しているが当時の国家財政が危機に陥っていたため実現を見たかつた、その後も運動を行い廿四年十二月に至り私立学校法が制定されその第五九條により私学に対する国家の財政援助は制限なる法的根拠が与えられ、国家財政も徐々に健全化してきた、日本私立大学協会を始め私学制度は日本私学団体総連合会の名の下に強力な運動を展開し、その結果九月初旬本問題は資本金一億円の政府出資による「私学振興金庫」としての開設決定をみ、廿六年政府予算案中に計上されたが、これを資本金とし必要に応じて増資することができ、また私学金融債券を基本金の五倍以内で発行し得るなおこの金庫の基金による貸付期間三十年で金融債券発行による資金の貸付期間は十年間とする案になっているが、この金庫が実現するかは司令部の決定にかかつており特にドッジ氏ならびにESSの了解が必要なので日本政府の今後の努力と司令部の同情ある決定とを待つべく努力研究中である

私大協会総会行わる

去る十三日京都同志社大学において日本私立大学協会第八回私学総会が全国私立大学八十数校出席の下に行われ本学からは澤絵務部長の後議員に入った

△一般報告　○法人組織変更の件（去る三月私立学校法が施行され従来民法上の財団法人だった私立学校財団は明年三月までに学校法人に組織変更することの連絡等）○日本学術会議会員選挙の件○育英資金、新旧卒業生の補助

△財政問題○私学振興金庫設立の件（別項参照）○私学教職員共済組合設立の件○恩給　退職の件（学校財正補助のために行う種々の収益事業に対する規定の検討）○戦災復興官国庫貸付金の問題○ジェン台風の災害復旧補助金について（関西地方を襲ったジェーン台風による各私立大学に相当に被害があったがこれに対し政府の補助金は僅か五分にかすぎないので増額を要求するちなみに私立の中学、高校に対しては災害の五〇%も支出されている）

△教育問題○教職員の獲成○学科課程とその指導方法及び入学者選抜方法の件○学生生活指導の問題

△総合調査（各私学の実状調査を発表報告）

△国際大学総会の件（近くフランスのニースで開かれる国際大学総会に私学からも参加するが私大協会としての対策を協議

現像・焼付・引伸

カメラと感光材料

池袋西口交番前マーケット入口

川原写真機店

さしのべられる愛の援助

全学院で募集活動

本学院はこのほど朝鮮動乱による韓国戦災者救済の義損金募集運動を行うことになり、去る十二月二日金韓国公使、伊藤日赤副社長らの出席をえて、学生ホールにその発会式を行った、席上金公使は朝鮮戦災者の惨状を訴えたのち大要次のごとく語った

このような運動が学生の中から起きたことは、今後日韓両国青年が友愛に結ばれるという点により多く期待している、戦時在日韓国人についてとかくの批評があるが、それは共産主義の手先となって混乱を策した者といわゆる無秩序者との二つの型である、後者の責任は私が負うがこの種の問題はよく了解していただいて、この運動が今後の日韓両国民が互に友情で結ばれる先がけとなることを希っている

この運動は聖公会外人部部長ランプソン女史から韓国戦災者の状況を聞いた本学院学部社会科社会事業学会の学生が、義損金募集運動を起すイニシアチブをとったもので、佐々木綾子もこれに賛意を表して、小学校、中学校、高等学校、立教女学院等全立教学院を含む他、希蘭女学校、聖路加女子医専など聖公会関係諸学校へも働きかけることになったものである

既に衣料品が山積

この運動は佐々木綾子を会長に各学校単位に支部委員会を設け、これら委員をもつて中央委員会を構成し、各支部単位に募集を行い、集められた義損金品は中央委員会を通じて韓国に送られることになっている、大学では学生会を中心に学院教学部を始め各学部学生会、YMCA、BSA（聖徒アンデレ同胞会）などの他女子学生たちで組織するガールス・クラブ等で積極的な活動を行っているが、ガールス・パンツなどが山と積まれている、この募集活動は十一月一杯で一応打ち切られるが、前記社会事業会では教課過程の一端として他学校にも働きかけてその技術的援助に応ずる旨謂っている

菅教授帰國

社会科田中教授も

昨夏渡米した本学文学部長菅円吉氏は米国聖公会総会に出席の後米国各地を研究旅行中であつたがさる十月二十六日朝無事横浜に帰港し次のごとく語った

なにしろ日本は五十年米国より遅れている、個人々々が時長を生かして生活しており資本主義も合理化されている

時に教育の機会が均等であると感じる

昨夏渡米した本学文学部長菅円吉氏は米国聖公会総会に出席の後米国各地を研究旅行中であつたがさる十月二十六日朝無事横浜に帰港し次のごとく語った

なにしろ日本は五十年米国より遅れている、個人々々が時長を生かして生活しており資本主義も合理化されている

時に教育の機会が均等であると感じる

学で教育学を専攻の本学社会科の田中正吉教授もさる七日帰京した

立教の縮図

部学済経

（一）

この専門課程で経済学科と経営学科に入ることになるのが、しかし両科学とも広い意味の経済学を基礎研究目的とする点で相違はない。他方で経済原論、経済史、企業論、景気論、財政学、経済政策論その他の基礎的な学科は重要な諸科目を始め、商法、民法、商法並に政治学、社会風潮史等々の経済学プロパーと関連して重要な諸科目も共にいづれも専門科共通の必修科目となっているのである。なおその上に選択科目制度を活用することによつて、経済学科の学生も相当の程度まで経営学科の科目を聴講できるようになっているし、経営学科の学生もまた同様であるから、在京中に経済学及び経営学の基礎的な専門知識を一通り修得することは、努力次第では決して不可能ではない。

しかし基本的には、上述のように経営学科の研究対象がヨリ一般的、ヨリ抽象的、ヨリ理論的であるのに対して、経営学科のそれはヨリ特殊的、ヨリ具体的、ヨリ実際的であるという相違があるのであるから、両学科のいづれを選択するかは、受験者自身の個性と将来の進路に照して慎重に考慮し決定すべき問題である

従来本学経済学部の卒業生が金融界及び産業界を始め各方面でりこなる好評――明るい、よき人柄や、信念と責任観念に富み信頼できる点や、仕事に誠実熱心で相当の高度の専門的学識と研究能力の養成を主眼とするものであるから、その整備充実と共に、新日本の将来の経済的、文化的発展の上に大なる役割を演じ得るような人材を続々輩出するに至るであろう（鐘崎経済学部長）

なお本経済学部には昭和二十六年四月から大学院（修士課程）が新設される予定になっている。これは経済学研究科の名称の下に、経済理論及び経済史学専攻、財政金融及び経済政策論専攻並に経営学専攻の三部門から成り、学部における一般的及び専門的教養の基礎の上に、経済学に関する更に高度の専門的学識と研究能力の養成を主眼とするものであるから、その整備充実と共に、新日本の将来の経済的、文化的発展の上に大なる役割を演じ得るような人材を続々輩出するに至るであろう（鐘崎経済学部長）

「経済学研究」復刊さる

経済学研究会新発足

昭和廿年春以来休刊されていた雑誌「立教経済学研究」が五年ぶりに復刊され去る十五日第一号が発行された、同誌は戦前、学内の学術誌として「立教史学」「英文学研究」などとともに昭和十三年経済学部から創刊されて以来学内はもとより、広く一般の間にも極めて高く評価されていたもので今後も本学経済学部教授陣の研究誌として学界の多大な期待が寄せられるものと見られている

また同誌発刊を機に経済学研究会が新発足、経済学部旧制三年新制二、三、四年の学生はすべて同会の会員となる

河西会長談

昭和廿年以来休刊になっていた雑誌「立教経済学研究」が五年ぶりに復刊されたことは誠に慶賀に堪えない、この復刊は、戦後の学問の発展に一段の意義を加えるものと思う

「立教経済学研究」が今度復刊を見たことは誠にまことに喜ばしい状態の復刊は本学における経済学研究の成果を世に問うものであり、わが国経済学界に寄与するところが大きいであろう、また本誌が学生の研究と研究に多大の便宜と示唆とを与えることを確信する

就職状況

採用決定者やつと二割

芳しからぬ新制卒業生

既報＝昨年度の就職戦線も悪戦苦闘の状況を呈しているとの事であるが、前号（十月廿日）以後の本学の就職状況を調べると、まず惨憺たるものがあるとの事である

きことは旧制に比して新制が全く振わないことで、旧制の約三分の一となっている、やはり一年間の差は学力、人格ともに大きく響くらしい

現在まで人事課に入った合格確定者は約三百名であるが、この他に「縁故関係による入社決定の者が少なからざる数に達している」とは人事課の弁

前号以後の主な採用決定者の内訳をみると協和銀行一、日本信託二、明治生命一、大正海上火災一、千代田火災二、日産火災一、日興証券一、山一証券一、読売新聞一、十條製紙一、苫小牧製紙一、日産化学一、中部日本重工業一、明治工業一、清水建設一、日立造船一、東邦物産一、横浜ゴム一、小野田セメント一、富士製鉄四、野田醤油一、帝国工業金四となっており、求職者もそろそろA級会社からB級会社に目を向けて来ている

学生会長に松本尊道君

学生会新役員決る

学生会では去る十三日旧役員全楽のため次の通り新役員を決定した

学生会長松本尊道（文化会）同副会長安斉八郎（総委員会）同吉田洋（体育会）

【写真は松本新学生会長】

松本学生会長談

増田前会長の後を承けて学生会長に選ばれたが、私自身立教の伝統と使命を負つて立つには如何に無力であるかを今更の様に痛感している、吉田洋、安斉八郎の両副会長と一致協力さらに学生諸君の支援に尽力致す覚悟でいる

小学校増築工事に着手

明年三月には完成か

小学校では来春新入生の入学による教室不足のため総工費約千六百万円の予算で新校舎の増築をすることになった

六教室の他に理科、図画、音楽、手工室を新設、明年三月一杯には完成の予定

冬休みは廿一日から

授業開始は一月十五日

今年度の冬休みは例年より二、三日早く十二月廿一日から一月十三日までとなり、来年度の授業は一月十五日から開始される

山田氏を迎えて

復活第一回定期演奏会

管絃楽部

管絃楽部では来る十二月二日午後六時より日比谷公会堂で復活第一回定期演奏会を行う、この第一回を飾るべくこの日は特に聖専任指揮者山田和男氏、ソプラノ砂原美智子氏の賛助出演が予定されている、山田氏の率楽団の指揮は

冬の訪れ

早、立、明で覇権争い

―アイスホッケーリーグ展望―

スポーツ展望

戦後初の関東大学アイスホッケーリーグ戦は早稲田、立教、明治、慶応、東京の五大学の間で来る廿九日から十二月八日まで芝スポーツセンターで行われる、この頃まで戦後すでに五年を経、各校とも練習熱を多くつんでいるので復活初のリーグとはいえ活気ある好試合が展開されよう、以下各大学の陣容をそのまみる

早大　優勝候補の筆頭早大はFW勝原、西村、上原DF川西GK川辺と陣容はきわめて強力でとくに第一FWは学生のなかではピカ一、その脚力とクッシュには恐るべきものがある、ただ今季リーグの悩みは勝原が練習中負傷、出場が危ぶまれていることで、この点がつくなら第二FW以下が未熟なことで接戦になると以外な番狂わせが起るかもしれない

慶大　今シーズンの明大は持駒豊富に戦後一番充実したメンバーをそろえている、FWに松原、中原、沢口、金田、宮崎と第一FW、第二FW、ともに力量が同等なのが強みで早、立の牙城に迫らんとしているが弱点は決つたポイントゲッターを持たないことで幾分攻撃力を欠くうらみがある

立大　今年は一躍廿五名の部員を擁しているが前記三校とは他はなく相当の開きはあるが緩急自在の攻撃は侮り難く各校とも油断は出来ない

東大　昨年九名の部員から今年は一躍廿五名の部員を擁しているが昨年の陣容のほとんどが卒業のため実力は未知数、二、三年後に期待したいチームである、いずれにせよ上位三校の実力差が紙一重で予想はむずかしいが第一日目の早立戦がヤマとみられこの試合の勝者が八分通り優勝を掴むのではないだろうか

試合日程次の通り

十一月廿九日早立、慶東

十二月一日立東、早明

四日明東、立慶

六日早東、広明

八日早慶、明立試合開始は午後五時

同大に連勝す

恒例の本学対同志社大学野球定期戦がさる十五、六の両日東長崎グランドで行われた

関西六大学優勝校同大も立教二線投手に全く手玉にとられ、一方本学は適時に好打を放つて連勝した

①立大 040 050 00A 9
同大 000 000 000 0
②同大 000 001 010 2
立大 102 100 001 5

（立）二階堂―井上（同）高橋―青山

新学期に山崎選手

野球部では青池主将の卒業のため

野球部では青池主将の卒業のため後任主将を選考中であつたがさる十八日山崎弘（新三）選手を新主将に決定した

他五大学の新主将はつぎのとおり

宮原（慶）野村（法）平古場（慶）朗武（東）

軟庭一部に昇格か

二部リーグで優勝

関東大学軟式庭球二部リーグは去る三日から十六日まで本学コートで行われたが立大、教育大、明学大が四勝一敗の同率となり、再試合の結果立二勝、教一勝一敗、明全敗の成績で本学が優勝した、この結果一部リーグの慶、法二部戦がさる十五、六の両日東長崎グランドで行われた

関西六大学優勝校同大も立教二線投手に全く手玉にとられ、一方本学は適時に好打を放つて連勝した

①立大 040 050 00A 9
同大 000 000 000 0
②同大 000 001 010 2
立大 102 100 001 5

（立）二階堂―井上（同）高橋―青山

新主将に山崎選手

野球部では青池主将の卒業のため

野球部では青池主将の卒業のため後任主将を選考中であつたがさる十八日山崎弘（新三）選手を新主将に決定した

他五大学の新主将はつぎのとおり

宮原（慶）野村（法）平古場（慶）朗武（東）

軟庭一部に昇格か

二部リーグで優勝

関東大学軟式庭球二部リーグは去る三日から十六日まで本学コートで行われたが立大、教育大、明学大が四勝一敗の同率となり、再試合の結果立二勝、教一勝一敗、明全敗の成績で本学が優勝した、この結果一部リーグの慶、法二部戦が行われるが本学の一部昇格の色が濃い

ホッケー覇権逸す

関東学生秋季ホッケーリーグはさる十二日で終了したが、本学は最終日の優勝をかけた対大戦に引分となったため惜しくも優勝を逸し、春同様第二位となった、順位は次の通り明大四勝一分、②立大三勝二分、③慶大三勝二敗、④早大、⑤法大、⑥農大

波紋

▽戦争の爪跡は、ますます大きくなるばかりである、ことに物資の破壊にとどまらず、わが国文化を世界のこれから孤立させてしまつた文化交流が絶えてからの八、九年はわが国の文化史上の大きな空白時代である、しかもわれわれ反省してみるとき、戦争指導者による外国文化の排撃を基盤とする無視を自己の中に理由付けていた様に思われる。

終戦と同時に文化国家を標榜したが、その文化遺産は世界的な戦時中独占的に掠奪されたどころか文化にならなかったならば幸である。

▽最近「翻訳工場」を盛況ならしめたようにホンヤク文化がインテリ層から大きな歓迎をうけ、まさにわれわれはようになった。

それが今日では、原書時代になつたとよくいわれる、輸入資金、その他の面原書入手にはいろいろな困難があろうが、多少ともナマのすぐれた文化に直接、接し得られることは感謝によろこばしいことである、ただこの文化をわが国がどの程度まで消化し得るかが問題である、例似された貴重な輸入資金を悔いて得られたこれらの書物を物好な流行人や新しがりやの通読の資とはしたくないものである

×　×　×

▽本学の拡張工事は遅延にくるかなようやく今年末には完成する見通しがついたという、本学前に新築された料亭旅館や空襲直前中の池袋駅にくらべればさほど大規模な工事とは思われないが遅延の理由が資金の点であるとすれば別にひねくれたものでなくて文化の僅少、強いては国家において占める教育の重要さの過少評価について考えさせられるものがあろう。

▽ここに日本文化の弱力性への警鐘を取越し苦労ということばでは済まされないような気がするまた教育の貧困が大学の風呂屋や洗たく屋では解決されると思つた為に、ヨリ理論的であるのに対して、経営学科のそれはヨリ特殊的、ヨリ具体的、ヨリ実際的であるという相違があるのであるから、両学科のいづれを選択するかは、受験者自身の個性と将来の進路に照して慎重に考慮し決定すべき問題である

従来本学経済学部の卒業生が金融界及び産業界を始め各方面でりこなる好評――明るい、よき人柄や、信念と責任観念に富み信頼できる点や、仕事に誠実熱心で相当の高度の専門的学識と研究能力の養成を主眼とするものであるから、その整備充実と共に、新日本の将来の経済的、文化的発展の上に大なる役割を演じ得るような人材を続々輩出するに至るであろう（鐘崎経済学部長）

なお本経済学部には昭和二十六年四月から大学院（修士課程）が新設される予定になっている。これは経済学研究科の名称の下に、経済理論及び経済史学専攻、財政金融及び経済政策論専攻並に経営学専攻の三部門から成り、学部における一般的及び専門的教養の基礎の上に、経済学に関する更に高度の専門的学識と研究能力の養成を主眼とするものであるから、その整備充実と共に、新日本の将来の経済的、文化的発展の上に大なる役割を演じ得るような人材を続々輩出するに至るであろう（鐘崎経済学部長）

★★★

不良青少年の特徴
必要なグループ活動

森脇　要

十月十日から警視庁を中心に青少年保護育成運動が行われている、戦後犯罪の大部分がいわゆる青年層によって形成されていることから、こういう犯罪者を矯正することよりも、こういうものの生れない環境を作るのがこの運動の真の意義であろう、この意味からこの問題については、教育者にのみ任せておける性質のものではない、千葉県警察部長は最近の談話で、「青少年保護育成運動」に際して、青年心理学の森脇教授に、青年犯罪の心理学的解明を求めた

青少年犯罪の増加

終戦後の日本の大きな悩みの一つは犯罪の増加、凶暴化であり、特に青少年の犯罪、非行の増加であろう。廿歳未満の犯罪は終戦の年である昭和廿年に約五万五千であったものが廿一年は十一万二千廿二年は十万五千、廿三年は十二万五千と増加している。青少年の犯罪は、日本の将来に深い関係をもつだけに一層憂うべき現象である。

全國的な現象

しかも青少年の犯罪のこの増加は敗戦の日本だけの特異現象ではなく、戦勝国のアメリカにおいても同様の現象が見られる。戦争は勝つても敗けても青少年の不良化に大きな影響を与えていると考えられる。

犯罪の原因

これら青少年が犯罪を犯すにいたる原因は何であろうか。これは個々人それぞれ異っているであろう。あるいは一つの原因でなく、いくつかの原因の結果として犯罪にまでいたるであろう。ある青年を窃盗に向わせる原因は、他の青年を窃盗に向わせる原因と同じではない。これは個々の事例を系分に調査しなければならない。

犯罪者の特徴

しかし多くの青少年犯罪を統計的に研究して見ると、そこに一つの青少年犯罪者の特徴が浮び上って来る。これはどこまでも特徴であって決して個々の原因ではないが、そこにいくらか一般的な原因が明かにされ、したがってまた対策が考えられよう。青少年犯罪者の知能は今までは余り高くも低くもないと考えられていた。知能指数で七〇から八〇あるいは九〇まで位な者が多かつたのである。しかし終戦後この指数が増加し、知能指数一〇〇あるいはそれ以上の者も犯罪を犯すことが非常に多くなっている。このことは終戦後の社会的適応が如何に困難になったかを示している。彼等の学業成績は、彼等の知能から予想せられるよりもはるかに悪いのが特徴である。彼等の身体的状態は決して悪くはない。ある学者はむしろよいとさえいっている。

家庭水準の低下

彼等の家族はみな貧困であろうか。必ずしもそうでない。貧困な家族の者には窃盗が多いという如く、貧困は犯罪の種類を決定するに大きな能力があるとしても、しかし貧困がもたらす副次的なものすなわち家族の不和、家の狭隘、環境の悪さ等は青少年犯罪に大きな関係をもっている。

青少年の家庭の道徳的水準もまた関係が深い。青少年犯罪者の中にはその家族に他の犯罪者を持っていることが多い。終戦後は家族が青少年犯罪に対する無関心あるいは暗黙の許可が多く見られまた多少とも間接引等が行われており、これが青少年の道徳的水準を低くしている。青少年犯罪者の中には、死別、別居、離婚等によって家族の壊れた者が著しく多い特に離婚によって家族の壊れた者に著しく多い。しかも年少の時に家族が壊れるほど、犯罪者となる可能性はそれだけ高い。十三歳以上になると家族が壊れても、それ程大きな影響はない。

グループの必要

青少年犯罪の著しい特徴は、何等かのグループをなしていることである。ほとんど大部分がグループの一員である。しかし社会的に認められたグループ活動団体YMCA、YWCA、ボーイ・スカウト、S・S等に参加している者が犯罪を犯す事がほとんどない。青少年のころはグループとして活動する事を好むこの心理が健全なグループによって満たされるとよいが、これが反社会的なグループにそのはけ口を見出すと、犯罪を犯すことになるよいグループ、ワークがもっと行われねばならぬ。

地域的原因

青少年犯罪は都市に多く、農村に少ないが普通であった。しかし終戦後の一つの特徴は、農村にもどんどん増加していることである。都市では商業や重工業の中心地が多く、これから遠ざかると段々減少して行く。青少年犯罪はその一地域、社会の崩壊と深い関係をもっており、ある社会が崩壊現象を示すと、犯罪は増加する。日本の社会全体が崩壊した時に青少年犯罪が多いのはある意味で止むを得ないのかも知れない。

不良化防止の学生運動を

青少年不良化の対策としては多くのことがいわれ得る。しかし学生諸君に特に注意してほしいのは健全なグループ活動に参加している者の中から不良青少年は出ないということである。諸君が学生時代にボーイ・スカウトやYMCAやSS等の運動のよいリーダーになって、多くの青少年によいグループ活動を与えてやってほしいと思う。それと共に不良化した青少年を矯正しようという学生運動に参加して、これ等の青少年のよき兄あるいは姉となってほしいと思う。(本学教授)

『世界文学への繋り』

ノーベル賞受賞者　フォークナーについて

杉木　喬

一九〇一年初めてノーベル賞の授賞があって以来、すでに半世紀が過ぎ去ろうとしている。火薬王明者アルフレッド・ノーベルが、その遺産の利子を、人類の福祉に最大の貢献をしたものに贈ろうということ自体、考えてみればずいぶん皮肉であるが、また同時に当然ともいえるだろう。政治も経済も学問も芸術も宗教も、すべてはわれわれ人間が、どうしたら幸福に生きられるか、そのための技術に外ならない。そしてこの半世紀の間に、そのような技術は、それぞれの部門において、ずいぶん進歩してきたはずである。にもかかわらず、われわれは果して幸福になっているだろうか、という疑問が絶えず胸中を去来する。いろいろの部門で、何かバラバラに、無目的に、進歩しているだけで、それらを統一綜合して、ほんとうに人類の幸福に奉仕させようとする努力が、果してどのくらい行われてきたであろうか。大きな石に紐をつけてぐるぐる回しているうちに、力の弱いものは、いつか遠心的に自分の方が回されている、といった風な段階に、われわれ人類はいま陥っているのではないか。しかし、その成果がどうあろうと、世界の科学者や知識人の良識と善意によって、人類が幸福に一歩一歩近ずいて行くことを、われわれは信じたいのである。

このような現状にあって、今度ノーベル受賞者の発表を見たことは、一そう意味の深いことだと思う。科学関係についてはよく知らないけれども、パートランド・ラッセルとウイリアム・フォークナーとが受賞されるということも、われわれ文化に関係あるものには大きな関心をよぶ。ラッセルについては問題はあるまいが、アメリカの作家フォークナーに関しては型破りの受賞とも考えられるが、しかし第一次大戦以来特異な心理的リアリズムの作品を数多く発表し、ヨーロッパでも非常に高く評価されていることを思えば、むしろ当然ともいえるだろう。たとえその作品が、醜悪、暗黒、不具者扱って、第一次大戦以後の救い難い暗さを、新しい技法によって表現していて、直接人類の幸福に役立たないように見えても、文学の世界は広く大きい。およそ何等かの技法が生れるには、その背後にそれを生むべき思想の基盤が存在しなければならず、また更にその背後には、そのような思想を生むべき社会的現実の広い地盤がなければならない。彼の技法が、第一次大戦の影響のもとに生れたことに、ふしぎはないのである。

ウイリアム・フォークナーは、一八九七年、ミシシッピ州の生れ学業半ばに第一次大戦にフランスに出征、休戦間きわに負傷した。ヘミングウエイやドス・パソスと同じく、世紀末に生れ、大戦で痛めつけられたいわゆる「ロスト・ジエネレーション」の一人である。一切の古いものを否定し、しかも新しい信仰も信条も発見し得ない時代の迷子であり職無者である。彼が文壇に出るようになったのは、生粋のシャーウッド・アンダソンの文学の影響と庇護による。

大戦で負傷し精神機能を喪失した飛行将校の帰還後の暗い運命を扱った「兵士の報酬」(二六年)を処女作として、帰還兵の内部崩壊を中心に新旧社会の交替を浴醜なほど非情的に描く「サートリス」(二九)を経て、白痴の眼を通して南部一家の没落を描いた「響と怒り」(同年)あたりから、いわゆる意識の流れの技法を使い、特に「死の床に横たわりて」(三〇)にあつては、南部のプア・ホワイト(白人貧農)の惨めな生活の中に生起する異常心理や異常性格や醜悪な欲望などが、十数人の口を通して語られている。「聖域」(三一)は金のために書いたといわれているが、不具者、醜悪な人間、病的心理等を描きながら、その心理的リアリズムの冴えによって彼の地位を確立した作品である。

彼の多くの作品中最も注目すべきものは、アンダソンの流れを汲む心理的リアリズムを、そのギリギリの限界にまで進めていつて、小説の構成として、これ以上の実験は不可能と考えられる「野性の棕櫚」(三九)である。この作品は一つの独立したものでありながら、二つの異った物語が、互にからみ合って、それぞれ独立して進んで行く。一つは人妻と医学生との恋愛、一つはミシシピ河の大洪水に際しての囚人たちの冒険、すなわち情熱と混沌の二つを題としながら、現実からの逃避という点では同じである異常な物語である。なお最近作としては「響と怒り」(四八)があり、黒人の問題を心理的社会的な角度から扱っている。その他、観念作品として、長篇と並んで、多くのすぐれた短篇も書いている。いずれにせよ、このような特殊な作家だけに、文章も難解であるが、そのような表現を生む心理的な深い理解なしに、筋の面白さに惑かれて思わず読みふけるという種類のものとは、多少の距離のあることは事実である。実在性の具体的発展は望むべきでなく、その点ボーオークナーの場合、単に心理的に生理的にも異常な人間を描きながら、同時に南部白人や貧農の生活の隅々までリアリズムを破っている点で、ポーなどとは異っている。第一次大戦後の心理的リアリズムの展開において、彼がサルトルはじめ今次大戦に痛めつけられた多くの若いフランス作家に注目され、また彼等に多くの影響を与えていることは、アメリカ文学が世界文学へ飛躍しつつある一つの証拠である。この意味からいつても、彼の存在は大きいのである。

アメリカ作家でノーベル賞受賞者はこれまで三人あった。シンクレア・ルイス(三〇年)ユージン・オニール(三六)そしてパール・バック(三八)フォークナーで四人になるが、好むと否とにかかわらず、最近におけるアメリカ文学の世界文学への登場は否定できない。アメリカのことなら、何でも易々と軽くベタ褒れする当世軽薄才子は論外として、真に研究者に期待すべき未耕の処女地は多いのである(筆者O本学教授)

論文募集公告
「革命に際して後はいに節る制」四〇〇字詰原稿用紙四枚以内選衝本紙編集局応募作品返却せず、著作権は本紙は帰す採用のものには薄謝を呈す。但し応募者は三四に限る。

生々しい現実描写

映画「無防備都市」の追力

津田幸夫

何という生々しい息吹きであろう。その接近する作心の鼓動が画面に脈打ち、じかに観客の心にとび込んで来る。

―それは、聞えるなどという生易しいものではない。ひきずり回し、えぐりとらずにはいられない迫いない。

終戦直後すでに問題に登り各国の読紙にその片鱗が宣伝され、イタリアン・リアリズムなる新語をうましめた作品である。「戦火のかなた」の ロベルト・ロッセリニの戦後第一作で、ほとんど無名といっていい彼は、この一作によって世界の瞬視を浴び、超ロマンテイズムを身上として、その作品価値など省みられなかった伊太利映画を、世界の垂涎にまでのしあげたのだった。彼がこの製作を企図したのはドイツがローマを放棄する二カ月前といわれ、作家アミディ(靴みがき、戦火のかなたの調色者)や新しい俳優達と同志を組み、ドイツ軍の眼を盗んでは打合せの集いを持つた。イタリア人の抵抗精神を粉砕しようとする彼等の熱情は、生命を賭してドイツ軍より撮影機を盗みだし、ライトが、立敗がこれだけの成績を上げたのは始どのチャンスメーカーは修原君だった、とに角立敗の選手は質が低いね、バンチの指図なしでプレー出来る人は石原君位でせう、石原は たしかに 器用人だ、補手をやったり 遊撃にきたり、それから今度はサードでしょその点だから彼にとつては不利な訳ですよ

希まれる学校の理解

司会　立敗には よい選手がいないようですが、これは何ういう訳なんですか

好村　やっぱり傳統といいますか高校生は早慶に憧れて立敗など見向もしない、ミツシヨンスクールになつたと思います。慶応との一回戦で三対一から延長戦に持ちこんで勝つたわけですが、要するに選手自体の気力ですね。それで慶明に勝てたと思うんです

地味な進歩者望月、条原

司会　大沢さんの進歩が随分彫磨したということはいえませんか

砂押　私はそうは思いませんね。多少は進歩していますがね。大沢があれだけやつたのは井上の努力も認めてやらねばね。投手は「勝てば官軍」ですからね。それより望月、條原の進歩は大したものですよ

司会　望月さん、そういつた進歩の裏には人にいえない努力があつたと思いますが

望月　ただ、自分は素質がないということを知つていましたから、人と同じ練習をやつたのでは駄目だ、人の倍以上やらなければいけないと考えて一生懸命練習したのですが、まだ不充分だつたと思つています

司会　條原さん何か

條原　自分としても同じですが、試合の度びごとに練習の不足を感じたんですね、もつと練習しなければいけないんですね

司会　打撃についてですが、五番の竹之内さん、少し無理だつたんじゃないですか、砂押さんの八番は分体なかつたと思うんですか

好村　竹之内君には荷が重すぎましたね、打力を買つて勝江を出せばよかつたかもしれませんね

砂押君の八番は妥当ですよ

砂押　あれでいいところですよ、五番あたりにもつて行けば精神的負担が軽つて打てなくなりますかね

司会　條原さん一番立敗の中で打率がよかつたわけですが打ちにくかつた相手のピッチャーは

條原　やはり末吉(阜)さんですね

好村　條原君をほめすぎるようだが、今年リーグ戦を回顧して、色々お話しを伺いたいと思いますが、まづ思いがけない好成績を修めえた原動力は、やはりいわゆる砂押式猛訓練の成果ですか

砂押　まあ、選手が一生懸命やつんです

六大学野球リーグ戦を回顧して

実力として精いつぱい

猛訓練の成果現わる

出席者

右から望月選手、砂押監督、好村先輩(朝日新聞運動部記者)條原選手、石原選手

司会　今、練習の話が出たんですが、前の土生谷さんの頃と砂押さんと較べて何か

石原　土生谷さんの時には技術面で教えられましたが、砂押さんの場合は気力という点に重点をおいてやつたことがプラスになつたと思います。慶応との一回戦で三対一から延長戦に持ちこんで勝つたわけですが、要するに選手自体の気力ですね。それで慶明に勝てたと思うんです

司会　大沢さんの進歩が随分彫磨したということはいえませんか

砂押　私はそうは思いませんね。多少は進歩していますがね。大沢があれだけやつたのは井上の努力も認めてやらねばね。投手は「勝てば官軍」ですからね。それより望月、條原の進歩は大したものですよ

司会　望月さん、そういつた進歩の裏には人にいえない努力があつたと思いますが

望月　ただ、自分は素質がないということを知つていましたから、人と同じ練習をやつたのでは駄目だ、人の倍以上やらなければいけないと考えて一生懸命練習したのですが、まだ不充分だつたと思つています

司会　條原さん何か

條原　自分としても同じですが、試合の度びごとに練習の不足を感じたんですね、もつと練習しなければいけないんですね

司会　打撃についてですが、五番の竹之内さん、少し無理だつたんじゃないですか、砂押さんの八番は分体なかつたと思うんですか

好村　竹之内君には荷が重すぎましたね、打力を買つて勝江を出せばよかつたかもしれませんね

砂押君の八番は妥当ですよ

砂押　あれでいいところですよ、五番あたりにもつて行けば精神的負担が軽つて打てなくなりますかね

司会　條原さん一番立敗の中で打率がよかつたわけですが打ちにくかつた相手のピッチャーは

條原　やはり末吉(阜)さんですね

好村　條原君をほめすぎるようだが、今年リーグ戦を回顧して、色々お話しを伺いたいと思いますが、まづ思いがけない好成績を修めえた原動力は、やはりいわゆる砂押式猛訓練の成果ですか

砂押　まあ、選手が一生懸命やつんです

司会　練習の苦労は別に出席時数と試験などで色々と苦労することがあると思いますが

條原　早稲田との試合の時には試験が終つていましたけれど試験なんか何うでもよい早稲田に勝てばいいと思つていました

砂押　それではやはりいかんのだよ(笑声)

司会　練習の苦労は別に出席時数と試験などで色々と苦労することがあると思いますが

條原　早稲田との試合の時には試験が終つていましたけれど試験なんか何うでもよい早稲田に勝てばいいと思つていました

砂押　それではやはりいかんのだよ(笑声)

司会　今年リーグ戦を回顧して、色々お話しを伺いたいと思いますが、まづ思いがけない好成績を修めえた原動力は、やはりいわゆる砂押式猛訓練の成果ですか

砂押　まあ、選手が一生懸命やつんです

出席者

右から望月選手、砂押監督、好村先輩(朝日新聞運動部記者)條原選手、石原選手

司会　今、練習の話が出たんですが、前の土生谷さんの頃と砂押さんと較べて何か

石原　土生谷さんの時には技術面で教えられましたが、砂押さんの場合は気力という点に重点をおいてやつたことがプラスになつたと思います。慶応との一回戦で三対一から延長戦に持ちこんで勝つたわけですが、要するに選手自体の気力ですね。それで慶明に勝てたと思うんです

地味な進歩者望月、条原

司会　大沢さんの進歩が随分彫磨したということはいえませんか

砂押　私はそうは思いませんね。多少は進歩していますがね。大沢があれだけやつたのは井上の努力も認めてやらねばね。投手は「勝てば官軍」ですからね。それより望月、條原の進歩は大したものですよ

司会　望月さん、そういつた進歩の裏には人にいえない努力があつたと思いますが

望月　ただ、自分は素質がないということを知つていましたから、人と同じ練習をやつたのでは駄目だ、人の倍以上やらなければいけないと考えて一生懸命練習したのですが、まだ不充分だつたと思つています

司会　條原さん何か

條原　自分としても同じですが、試合の度びごとに練習の不足を感じたんですね、もつと練習しなければいけないんですね

司会　打撃についてですが、五番の竹之内さん、少し無理だつたんじゃないですか、砂押さんの八番は分体なかつたと思うんですか

好村　竹之内君には荷が重すぎましたね、打力を買つて勝江を出せばよかつたかもしれませんね

砂押君の八番は妥当ですよ

砂押　あれでいいところですよ、五番あたりにもつて行けば精神的負担が軽つて打てなくなりますかね

司会　條原さん一番立敗の中で打率がよかつたわけですが打ちにくかつた相手のピッチャーは

條原　やはり末吉(阜)さんですね

好村　條原君をほめすぎるようだが、今年リーグ戦を回顧して、色々お話しを伺いたいと思いますが、まづ思いがけない好成績を修めえた原動力は、やはりいわゆる砂押式猛訓練の成果ですか

砂押　まあ、選手が一生懸命やつんです

『嵐ヶ丘』

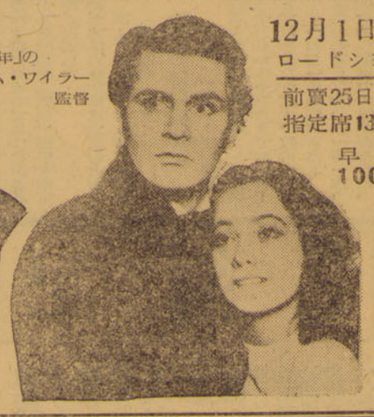
WUTHERING HEIGHTS

戦後最高のアメリカ映画傑作と批評家激讃の文芸映画の巨篇!!

「ハムレット」の ローレンス・オリヴイエ　マアル・オベロン　フロラ・ロブスン　主演

S・ゴオルドウイン　映画大作

「我等が最良の年」の巨匠ウイリアム・ワイラー監督



12月1日より ロードショウ

前賣25日より 指定席130円均一　早朝100円

多彩絢爛たる秋のスケジュール

有楽座

大映洋画部配給

30円の名画劇場

11月21―27日
靴みがき
デイツトリオ・デ・シーカ監督

11月28日―12月4日
天国への階段
マイケル・パウエル監督
英総天然色の異色篇

12月5日―11日
田園交響楽
ジヤン・ドラノア監督
ミシエル・モルガン

12月12日―18日
赤い靴
マイケル・パウエル監督
総天然色バレエ映画

新宿 帝都名画座

小牧バレエ團公演

昭和25年度芸術祭バレエ公演

M・グルリツト指揮による東宝交響楽団演奏

演出・振付小牧正英　装置三林亮太郎

前売中

17日→27日　グランドバレエ　ストラヴイスキイ曲　バレエ

毎日4時・6時半開演
150円・250円

ペトルウシユカ 牧神の午後

高島屋株式会社

中央区八丁堀四丁目三番地
本館ビル三階電話京橋(56)二〇五二

ゴム長靴
レインシューズ

11月30日 初日 → 12月13日 迄
但6.7.8.9.11.12日の公演は昼のみ 10日昼夜共公演ナシ 13日は昼夜共公演あり
255円　150円

小山内薫追悼新劇合同公演

どん底　ゴリキー作　小山内薫　四幕

主なる出演者
木賃宿の亭主　野々村潔
女房ワシリーサ　高橋豊子
ナターシヤ　轟夕起子
ナスチヤ　細川ちか子
癲癇メドエデフ　中江隆介
ワーシカペペル　岡田英次
錠前屋クレシチ　鈴木茂
その妻　アンナ　清野すみれ
クワシニヤ　内田礼子
帽子屋ブブツフ　伊達信
サチン　河野秋武
役者　林孝一
男爵　西村晃
ルカ　中村栄二
アリヨーシカ　木村功
人足　牧圓人
巡査人　織本順吉
外群集大ぜい

新劇の決定版

帝劇ならでは出來ぬ豪華番組!

12月15日 初日 → 29日 迄
毎日2時・6時二回開演
1.2階席 300円
3 階席 150円

藤原歌劇団34回公演

グランドオペラ

ファウスト

バレエ　小牧バレエ團
指揮　M.グルリツト
演奏　東宝交響楽團

演出　青山圭男
振付　小牧正英
装置　三林亮太郎
衣裳　吉村倭一
五幕　ゲーテ原作
照明　橋本義雄　クツー曲
合唱指揮　藤井典明
合唱　藤原歌劇團　日比野秀吉訳

キヤスト
ファウスト　藤原義江　木下保　永田絃次郎
メフイストフェレス　下八川圭祐　宮本良平　秋元清一
ヴアレンテイン　日比野秀吉　藤井典明　石津憲一
マルガレーテ　大谷列子　砂原美智子　高柳二葉
バレエ　〃ワルプギルスの夜〃　小牧正英　関直人　広瀬佐紀子
笹本公江外

帝劇ホール　ダンスパテーイ・小リサイタル其の他好適 忘年会・新年会・クラス会に御利用下さい お電話下されば係員参上致します

躍進する帝国劇場
IMPERIAL THEATER

26年1月 元旦 初日 → 29日 迄
元旦より14日迄11時・3時
平日1時5時2回開演

宝塚歌劇人氣スター総出演の正月公演
家族向の豪華二本立

モダンバレエ　ブルウインザナイト　景九
矢田茂　作及振付

グランドレヴユウ　スイングハイスイングロウ
高木四郎作演出　廿場

特別出演　越路吹雪・浦島歌女・四條秀子・南悠子・(星)
春日野八千代・天城月江・東郷晴子・朝倉糸子外雪組全員上京!

團体観劇特に御便宜御計り致します　帝國劇場
都電日比谷 国電有楽町下車
電話丸ノ内(23)4061 〃3052 〃845 日本橋(24)2014